

事業所名		重心児デイサービスあるふあ(放課後等デイサービス)				支援プログラム				作成日		令和7	年	2	月	5	日	
法人(事業所)理念		私たちは利用者の利益を最優先に考え、子どもたちの未来の可能性を広げる支援と自身の長所を活かしながら、本人に合った自立ができるようになることを目指し、一人ひとりの成長を支援する療育を提供します。セラピスト、看護師、保育士などが専門的な視点から支援を行うため、多職種が協働で、アセスメントに基づいた療育に取り組みます。子どもたち各自の思いを大切に支援に取り組みます。																
支援方針		子どもたち一人ひとりの特性に合わせて、5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメントの結果を分析し一人ひとりの成長と発達段階、困り感を分析します。子どもたち一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。																
営業時間		平日 土曜・祝日・学校 休業日	10 10	時	0 0	分から	17 16	時	0 0	分まで	送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、生活リズムや自立を支援します。歯磨き、手洗いを習慣として取り入れることができるよう支援します。ご家族や病院と連携し痰の吸引や胃ろうなど医師の指示書に基づいた医療的ケアを提供いたします。																
	運動・感覚	一人ひとりの感覚特性に配慮し安心して活動できる環境を整えます。感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚や姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を行います。作業療法士、言語聴覚士による指導があります。																
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、ICT療育や視線入力、デジタルリハビリなどを使用し支援します。アセスメントを基に一人ひとりに応じた支援課題を実施します。																
	言語コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示の理解を支援し、発話意欲や語彙の力を高める。発達を促しながら伝える力を支援します。必要に応じてICT療育や視線入力を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の育成を目指します。																
	人間関係社会性	ルールのある遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちや場面を考える機会を提供します。注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた行動が取れるよう支援します。相手の立場を理解し共感する力を育て、協力や対話での社会性の発達を促します。																
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問を通じて課題を共有し、家庭で実践につながる支援方法の提案をします。日々の取り組みを支える相談援助を行います。								移行支援		個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。						
地域支援・地域連携		・地域のイベントや地域へのお出かけ行事の取り組み ・各関係機関(学校・病院・相談員など)との連携を図る								職員の質の向上		・事業所内研修、カンファレンス ・療育協会内の各部会研修 ・外部研修会への参加 ・スタッフへの相談サポート体制						
主な行事等		・お出かけ、料理活動、避難訓練・防災訓練、季節のイベントを取り入れた活動(そうめん流し、プール、節分、クリスマス会、餅つき、初詣など) ・保護者会、懇談会																